

令和6年度版 横浜市立小田中学校 グランドデザイン

2024年度 重点目標

「たくましく、しなやかな心をもって自分らしく未来に向かう力の育成」
～粘り強く諦めない心、柔軟な心、認め合う心の育成～

本校の教育活動の根拠(よりどころ)

横浜の教育が目指す人づくり 「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

- 教育法規及び学習指導要領
- 横浜市教育ビジョン2030
- 第4期横浜市教育振興基本計画
- 横浜市立学校カリキュラムマネジメント要領

豊かな心を育む

- 他者との関りや社会の一員であることを実感しながら自分を見つめ、自尊感情を高められるよう、多様な体験活動を推進します。
- 人権意識の醸成、友達の立場になって行動できる豊かな人間性の育成

健やかな体

- バランスの良い食事や正しい食習慣を実現するように、食に関する教育に取り組みます
- 子どもに寄り添い、相談できる居場所をつくり、一人一人に応じた支援をします
- 学校保健委員会を通して健全な心身の育成を図る

資質能力の育成

持続可能な社会に貢献する力・自分づくりに関する力

○学校教育の基本(何ができるようになるか)

- ・多様な考え方を受け入れ、協働的に学び、自分の考えをよりよくすることができる。

○学習評価と学習指導の改善(何が身についたか)

- ・自分の考えをもち、学び合うことを通して、自分の考えを広げたり深めたりしている。

○教育課程の編成(何を学ぶか)

- ・教育活動全体を通じて「聴き、考え、確かめ、つなげ、深める」
- ・小中学校で一貫した未来づくり科を通した資質能力「持続可能な社会に貢献する力」の育成

○教育課程の実施(どのように学ぶか)

- ・課題を発見し、問題を解決する。
- ・協働的な活動を通して自分の考えをもち、他者の考えを聞き、見方考え方を広げ、深める。
- ・学びのプランを作成による「単元を通してつきたい力」の明確化、自主学習の習慣づけ

○実施するために何が必要か(指導体制の充実、個に応じた支援、家庭・地域との連携・協働)

- ・校内研修を充実させ、授業力・生徒理解・学級経営力向上に努め、専門性を高める
- ・子どもを第一に考えた視点を持ち、学校と家庭で協力・連携して、共に子どもの成長を図る
- ・前後期に取組を振り返りとPDCAによる改善を通じた組織の活性化と「チーム小田」で取り組む指導
- ・いじめ対策防止委員会の定期的な会議の実施による組織的ないじめ防止対策を図る
- ・小中学校併設型学校の特性を生かした児童・生徒の交流、教員による小中職会・授業研究会・人権研修会の実施
- ・教育相談アンケートの実施と生徒と向き合う時間を大切に、SC・SSWや関係機関と連携した支援、相談活動の充実
- ・生徒会活動を中心にした「子どもが主体」となる取り組みを支援し、「自己有用感」「連帯意識」「意欲」を高める
- ・「未来づくり科」を中心にしてESD教育(SDGs)を推進した考え方を教育課程全体に浸透させ「持続可能な社会に貢献する力」の育成

安心安全な学校づくり

- ・子どもに寄り添い、傾聴し相談しやすい一人ひとりに応じた支援
- ・特別支援教育の視点を取り入れた授業の工夫と必要に応じた取り出し授業
- ・自分の命は自分で守ることの意識を高める教育(安全教育、防災教育、情報モラル)

地域との連携・協働

- ・小中合同学校運営協議会により地域の思いや願いを反映させた開かれた学校運営の充実を図る
- ・KCS(小田小地域コラボレーションシステム)によるボランティア活動の推進 地域の財を活用
- ・地域に参画意識をもたせ、貢献するボランティア活動につなげる取組